

ヨガの収益 活用して

「池川自然学園を助けたい」

環境保護活動に熱心に取り組むヨガスクール「TOSA YOGA」が28日、仁淀川町竹ノ谷の池川自然学園（宇賀孝敏学園長）に、チャリティーヨガの収益金3万円と苗木2本を寄付した。スクール

とができない中学1〜3年の生徒らを、県内外から数カ月〜2年程度受け入れる。学園を拠点に約3キロ離れた同町立池川中学校へ通学する「山村留学」、学園内で学習をする「学園留学」があり、これまでに26都府県の延べ353人が利用してきた。現在は中学3年の男女2人が留学している。

運営費は、留学費と同町からの補助金が半分ずつ。この高知の「TOSA YOGA」贈呈

高知の「TOSA YOGA」贈呈

補助金が昨年、3割削減された。「昨年の決算で、3割がそのまま赤字になった」と宇賀学園長。最近は、不景気も影響してか9万5000円（山村留学は7万円）という1カ月の留学費に親が足踏みする傾向があるほか、県内外で受け入れ施設が増えてきたことから、留学生の数が減っているという。標高約250メートルの山あいを切り開いた学園の敷地は4畝で、建物は10棟以上。宇賀学園長を含め職員



苗木を寄付するブレット・ミリナーさん（手前左）と宇賀孝敏学園長
—仁淀川町の池川自然学園で